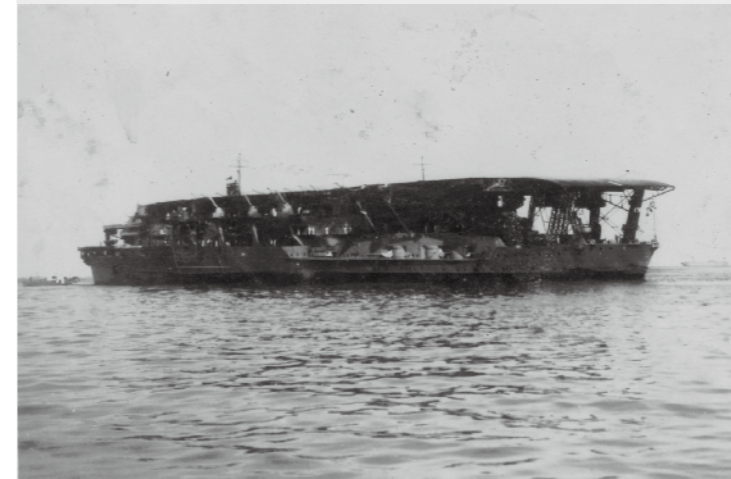


記憶に残る終戦の記録

終戦

から今年で69年目を数えます。いまでもこそ私たちは平和で穏やかな日々を送ることができません。しかし、多くの尊い命が失われた戦争という事実があったことを忘れてはなりません。終戦から長い年月を経た今、戦争を体験し、戦争のむごさや悲惨さ、当時の国民の想いを話す方たちは確実に少なくなっています。

当時、空からの敵の侵入を監視する「防空監視哨」の任に就いていた青木さん。戦争をふりかえり綴った想いを掲載しました。



染井の小川さんが乗船していた空母「赤城」

昭和20年8月15日、真夏の太陽が照りつけ、セミが鳴き続けている。たあの日、戦争終結に際し、天皇陛下の玉音放送が始まった正午。私は多古町南並木の飯田武治さん宅で拝聴いたしました。当時のラジオは音声はつきりしませんでした。したが、それでも真剣に聞き入っていました。自家の主人も縁側に正座し涙を拭きながら聞いていた。あの時のことは60数年経た現在でも鮮明に記憶に残っています。

終戦からさかのぼること4年の昭和16年12月8日未明、ハワイの真珠湾攻撃に端を発した太平洋戦争。ミッドウェイ海戦では、赤城を含む航空母艦（空母）4隻と多くの尊い命が失われました。赤城の乗員（主力高角砲手）であった多古町染井の小川武さんも空母と共に戦いの命を落とされました。生前私に送っていただいた赤城の写真は今でも大切にしています。

海岸より空母ホーネット、真珠湾より空母エンタープライズとが進攻し、東京から1200キロ沖の海上からは「爆撃機ノースアメリカンB25」15機が一機ずつ発艦し、5都市（東京・横須賀・大阪・名古屋・神戸）を目標として房総半島より日本本土上空に侵入しました。このとき、皇居は爆撃しないうように指示されていました。爆撃後、一機はウラジオストクへ向かい、14機は中国の麗水飛行場へ着陸しました。侵入する時の高度が100メートルと低く山間を見え隠れして飛行していたため、東金・白浜（横芝光町）・芝山・多古・伊能（成田市・旧大栄町）の5カ所の防空監視哨では識別不明で監視隊本部に報告したのです。

そのうちの1機が香取航空基地を爆撃し、黒煙があがったことから初めて敵機と判明し、佐原の監視隊本部に報告したのです。そして、昭和19年11月1日の正午、ボーイングB29一機が高度9000メートルで偵察のため鹿島灘より侵入し、7日には同機種のB29一機が高度10000メートルで南方洋から中村台上空を通過するのを目撃しました。



青木 静さん（水戸・86歳）

リテーテッド社の大型爆撃機B24により旭市の矢指農協、小学校、役場そのほか住家50戸あまりが爆撃を受けました。さらに、7月10日と19日の2回にわたって銚子市が夜間爆撃を受け、1000戸以上が焼失し、300名もの尊い命が失われたのです。

同機種の爆撃機により全国各地の主要都市が次々と爆撃され多くの命が失われました。

日本だけではありませんが、戦争によって、多くのものが失われました。これからは、二度とあのような悲惨なことは繰り返してはなりません。悲しみ以外にも残らないのですから。

長く続く咳

長く続く咳をきっかけに当院を受診する方は大勢いらっしゃいます。咳が続くと、がんや結核などの病気の心配をされる方がいらっしゃいます。あるいは本人は元氣だと思っ

文／国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

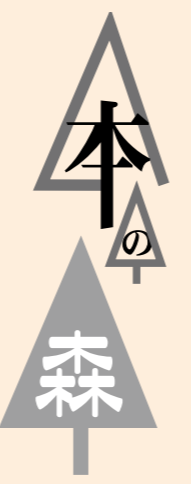
方もいらっしゃいます。ひどく体調が悪いときでも受診した方がない方は男性に多い印象です。そこで、妻の再三の要請で受診した方の本音をうかがうと、咳の症状で病院に行くこと禁煙の指導をされるのが精神的に負担になると話す方がいらっしゃいます。咳の症状があるときに喫煙を控えるように指導されたとしても、人格を否定しているわけではありせん。下痢の症状があるときに、消化の良いものを食べて胃腸の負担を軽減するように、喫煙を控えて呼吸への負担を減らすと提案しているのです。



また、もし入院ともなると、病室には他人もいるので、頑張る「よき顔」で治療に専念するのですが、その姿を家族に見られると恥ずかしいとおっしゃる方もいます。そのような方のために、当院には個室も準備されています。

【病院便り】

多古中央病院の受付時間は午前11時30分までとなっています。急患に限り時間外も受け付けていますが、設備と人員の関係上、適切な医療機関への紹介をさせていただく場合があります。近隣の医療機関を受診されている方で当院を受診する際にはお薬手帳など、投薬内容が確認できるものを持参してください。



私の一冊

『空が青いから白をえらんだのです』
— 奈良少年刑務所詩集 —

この詩集は、購読している月刊誌に、この本の編纂者であり作家の齋美千子さんのインタビューで紹介されました。童話や詩が刑務所の更生教育にどのように使われているのか興味を持ち、ぜひ読んでみたいと思いに取られました。



本植人：大和田幸子さん（宮本）

刑務所で齋さんが講師を務め、童話や詩を使った授業を行います。受刑者は詩を通して自分を表現した作品を作るのですが、母をテーマにしたものが多く、純粋な心から湧き出たつたない言葉でつづられた作品は直接心に響き目頭が熱くなります。

ぼれの問題児として教師からも相手にしてもらえず、すべてのセーフティネットからこぼれ落ちてしまった彼ら。自分を表現することが上手にできなく、もどかしさが積み積もって、やがて感情が爆発し、罪を犯して居場所を失っていったのです。

「もし彼らに自分の思いを表現する場所が与えられていたら、周りに一人でもいいからその思いを理解してくれる人がいたら、悲しい出来事が起こらなかつたのかも」と思うと心が痛みました。生まれ

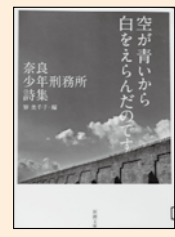
た時は誰もが無垢で純真なのです。詩集と言ってもところどころに説明があるので背景がとてわかりやすく、ぜひ子どもの教育にかかわる方や子育て中の方におすすしたいと思っています。

多古中央病院から

長く続く咳の原因の一つに、のどの痛みが強いかなぜの症状があげられます。例えば、腕にけがをすることで、まずはかさぶたができて、少しはれて痛痒い時期が二、三週間続き、やや茶色い傷跡になって治っていきます。のどが痛いかせは、のどがけがをしている状態に近く、回復にも同じくらい時間がかかります。のどの痛痒い刺激は咳の原因になり、場合によっては数週間以上、咳が続くことになります。これに対する効果的な治療法は少なく、トローチ剤やのど飴が有効なことがあります。

「夫の咳が続くので、病院を受診させたいけど、行きたがらない」と悩む

36年目



『空が青いから白をえらんだのです』
— 奈良少年刑務所詩集 —
編：齋 美千子
発行：新潮社

（あらすじ）
受刑者たちが、そつと心の奥にしまっていた葛藤、悔恨、優しさ…。その思いが「言葉」となって奇跡のような詩が生まれました。「刑務所の教室」で受刑者に寄り添い続ける作家が選んだ感動の57編。

今回紹介した本は、プラザ図書室に置いてあります。リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。
■コミュニティプラザ図書室
☎79-3406
開館時間：午前8時30分～午後5時
【休館日】毎週月曜日・祝日